

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	生涯学習推進事業(横島)		担当課【2】	コミュニティ推進課				
			評価者(担当者)	蟹江 勇二				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり						重点 施策【4】
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実						
	施策区分	(1)生涯学習の推進						<input checked="" type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育推進基本計画 年度予定 : 金額 千円】		<input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務							
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 2 細目 13							

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	いつでも、どこでも、だれでも学べるを公民館活動の基本として、地域住民の学習要求に応え、幅広い学習講座を開催し、子どもから高齢者まで対象とした事業を考えていく必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民 横島校区内児童
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	広く市民に生涯学習の普及と啓発を促すとともに、人間性豊かな子ども達を育成する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・以下の内容で子ども相撲大会を開催する。 時期:8月第1日曜日 対象:横島小学校男子児童 内容:団体戦、学年別個人戦 ・以下の内容で公民館講座を開催する。 絵手紙講座 14回 定員15名 コーラス講座 14回 定員30名 着物リフォーム講座 9回 定員10名 生け花講座 14回 定員15名
	事務事業を構成する細事業【15】 ⇒ ① 子ども相撲大会事業 ② 横島町公民館講座事業 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	438	450	453	478	
	【16】 小 計	438	450	453	478	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.20	0.18	0.15	0.15	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計	1,137	1,010	842	842			
合 計		1,575	1,460	1,295	1,320		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 子ども相撲大会事業	夏休み期間に横島小全児童を対象に相撲大会を開催する。	大会開催回数	回	1	1	1	1
② 横島町公民館講座事業	4種の講座を開講する。	講座開催回数	回	56	56	51	56
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 公民館講座受講者数	受講者延べ人数	人	714	910	930	930
			672	715	631	
2 子ども相撲大会参加者数	大会に参加した児童の数	人	137	124	129	129
			114	106	109	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	幅広い年齢層に対し、生涯学習の普及とスポーツ(国技)を通しての青少年育成が必要であり、事業を廃止した場合、市民の学ぶ権利が阻害される可能性がある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	公民館講座事業については定員に満たない講座があることから、募集方法の見直しや学習ニーズの把握による新たな講座の導入などが必要である。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	公民館講座事業については定員に満たない講座もあり、募集の周知方法の見直しや新たな講座の導入が必要であると考えている。新たな講座については、今まで受講者が少なかった年代のニーズ調査などを行い、また、開催回数も柔軟に設定することで、受講者数を増加させる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	社会の変化に対応し、日常生活に必要な知識や技能の習得と個人の持つ関心や興味を喚起させ、自己啓発を図るために、公民館講座による学習の機会を提供し、教養の向上と健康増進、受講生同士の仲間づくりを促進していく。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------